

第3回 核融合科学技術委員会日程(案)

平成27年8月4日

開始時刻	事項	説明者
13:30	・議題1 ・事務連絡	
13:35	(1) IFERC事業 ヒアリング	飛田健次 核融合炉システム研究開発部長
	(2) IFMIF/EVEDA事業 ヒアリング ((1)(2)あわせて20分)	大平茂 核融合炉材料研究開発部長
13:55	(3) IFERC事業、IFMIF/EVEDA事業 質疑応答 (30分)	飛田健次 核融合炉システム研究開発部長 大平茂 核融合炉材料研究開発部長
14:25	事務連絡 (5分)	
14:30	実地調査 (70分)	
15:40	研究所発	

「幅広いアプローチ活動 (BA 活動)」の進捗状況等の調査について (案)

1. 目的

幅広いアプローチ活動 (以下、「BA 活動」という。) は、「より広範な取組に関する協定及び付属書」(以下、「BA 協定等」という。) に基づき、日欧で実施している。平成 29 年 5 月をもって協定の当初の有効期間である 10 年が経過することから、協定期間終了後に、BA 協定あるいは別の枠組みによって行うべき研究活動及び実施体制等について検討するため、BA 活動の進捗状況等を調査する。

2. 調査方法

(1) 対象事業

- ①国際核融合エネルギー研究センター (IFERC)
- ②国際核融合材料照射施設工学実証・工学設計活動 (IFMIF/EVEDA)
- ③サテライト・トカマク計画 (JT-60SA)

(2) 調査の進め方

各事業について、ヒアリングと実地調査により進捗状況を確認する。

①実施主体からヒアリング (説明 (10 分)、質疑応答 (15 分))

説明事項：事業の概要、事業計画に照らした進捗状況、今後の計画 (BA 協定期間終了後に行う研究活動等に関する検討状況を含む)、その他 (ロジスティック面や要望等)

②実地調査

③専門的知見を有する者からのヒアリング (説明、質疑応答 (各 10 分))

- ・核融合フォーラム ITER/BA 技術推進委員会
- ・原型炉開発総合戦略タスクフォース
- ・原型炉設計合同特別チーム

説明事項：それぞれの立場から見た、BA 活動の成果 (国内外の研究開発活動における貢献、影響等)、今後の活動 (BA 協定期間終了後に行う研究活動等を含む) に期待すること等

④核融合科学技術委員会における意見交換 (15 分)

⑤各委員によるヒアリングシートの記入

(3) 調査結果の取扱い

事務局において調査結果の概要を取りまとめ、日欧間で設置されている BA 協定期間終了後の協力に関する WG に報告する。

(4) その他

本調査に関する議事及び資料は非公開とする。